

1 ゲンタマイシン硫酸塩

2 確認試験の項を次のように改める。

3 確認試験

- 4 (1) 本品及びゲンタマイシン硫酸塩標準品50 mgずつを水
5 10 mLに溶かし、試料溶液及び標準溶液とする。これらの液
6 につき、薄層クロマトグラフィー (2.03) により試験を行う。
7 試料溶液及び標準溶液20 μ Lずつを薄層クロマトグラフィー
8 用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。別に
9 クロロホルム/アンモニア水(28)/メタノール混液(2 : 1 :
10 1)を分液漏斗に入れてよく振り混ぜた後、室温で1時間以上
11 放置する。この液の下層20 mLをとり、メタノール0.5 mL
12 を加えて展開溶媒とし、約20 mm²の穴があいている展開用
13 容器のふたを用い、容器内にはろ紙を入れずに約17 cm展開
14 した後、薄層板を風乾する。これをヨウ素蒸気中に放置する
15 とき、試料溶液から得た3個の主スポットは、標準溶液から
16 得たそれぞれに対応するスポットの色調及び R_f 値と等しい。
17 (2) 本品50 mgを水5 mLに溶かし、塩化バリウム試液0.5
18 mLを加えるとき、白色の沈殿を生じる。
19